

溝端紙工印刷株式会社は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



SDGs(エスディージーズ：Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

私たちが考える持続可能な未来に向けてできる事



FSC® 森林認証紙の使用

「責任ある森林管理」を推進する機関として FSC® (Forest Stewardship Council®：森林管理協議会) が生まれました。FSC®はドイツに本部を置く国際機関で、「森林管理のための FSC®の10原則と基準」に基づき、認証制度を運用しています。この認証制度を「FSC®森林認証制度」と言い、認証された森林の木材を使用して作られた家具や用紙などの木材加工製品には FSC®のロゴマークがつき、消費者に対して、認証された製品であることを伝えます。

FSC®には FM 認証と CoC 認証と呼ばれる2種類の認証が用意されています。FMは「Forest Management」の略で「適切に管理された森」に対して付与され、CoCは「Chain of Custody」の略で FM 認証を取得した森の生産物を適切に管理し、加工・流通を行なっていることに対して付与されます。



責任ある森林管理のマーク

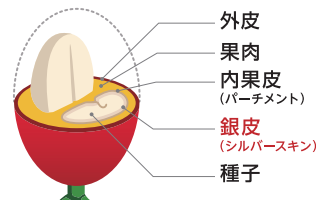


茶殻入り・シルバースキン入り紙製品の取り組み

伊藤園様の「お〜いお茶」製造工程で排出されるお茶殻を使った「茶殻リサイクルシステム」により誕生した茶殻入り紙製品を製造しています。



コーヒー生豆の焙煎する工程で排出されるコーヒー豆皮(シルバースキン)を使った紙製品を製造しています。紙パルプ原料の削減を図ることができる地球にやさしい製品です。



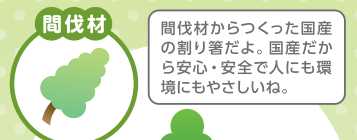


日本の森を活性化させる間伐材の使用

間伐とは、成長の遅い木や曲がった木を伐採し、森林の密度を適正に保つことです。間伐を行わない森は樹木の成長が遅くなり、土壌保全能力や水源涵養力が低くなります。日本には間伐されずに放置された森が多く、間伐の早期実施の重要性が叫ばれています。私たちはそのような間伐された木材を積極的に使用し、国産割箸をつくっています。



手入れされていない森は、木が密集して地面に日光が届かない。土に栄養がいきわたらなくて、木が弱るんだ。洪水や土砂崩れの原因にもなるんだよ。



地面に日光が届くように、曲がった木や小さい木を間伐するんだ。

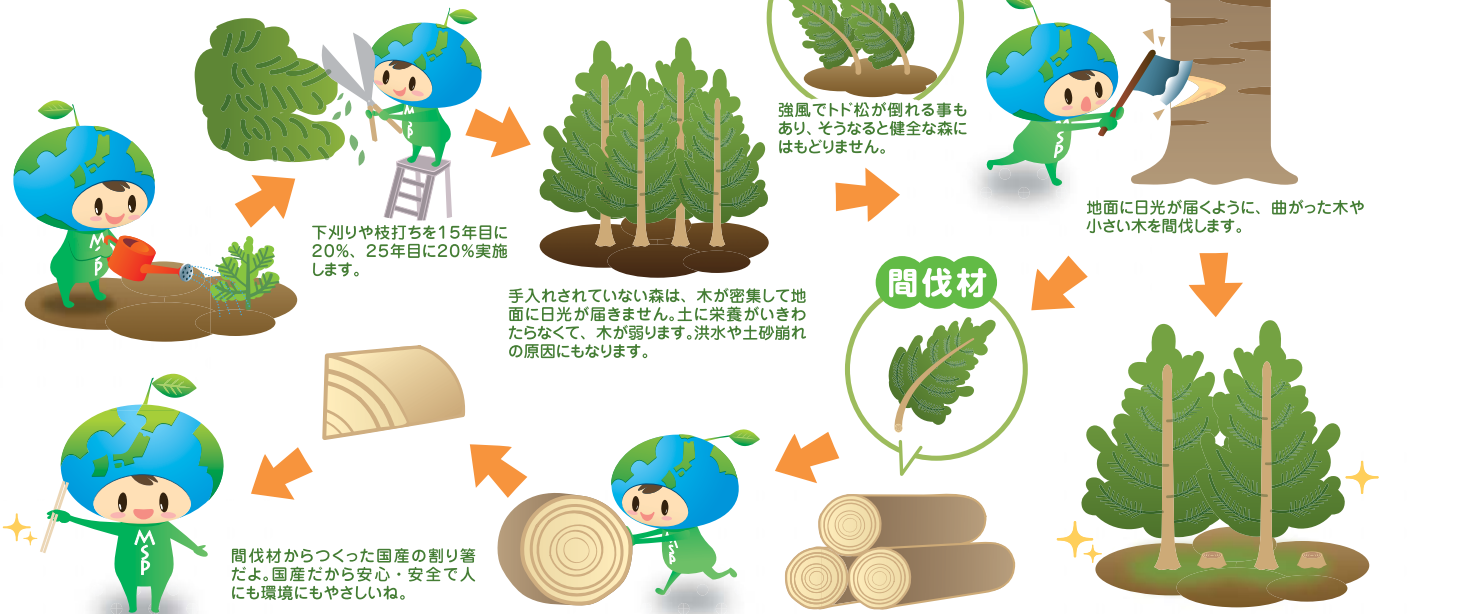


北海道割箸(わりばし)の森プロジェクト 始動

当社の割箸工場は、北海道紋別郡遠軽町に位置し、その近くの森林にて「割箸(わりばし)の森」プロジェクトをスタート致しました。令和元年 10 月 12 日第 1 回植樹祭を執り行い、当日はトド松の苗木 400 本を参加者の皆様に植樹していただきました。その後 600 本を植樹し、1 年目は合計 1,000 本の植樹をする事ができました。こちらのトド松を成長させて割箸をつくります!



植樹したトド松は 循環型サイクル どうなるの??



URL <http://www.msp.co.jp>

